

公益財団法人ふじのくに未来財団

2026 年度 事業計画書

～2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日～

2026 年度事業方針と重点テーマ

2025 年度は公益財団法人設立 10 周年を機に、静岡県の持続可能性を向上のために、コミュニティ財団として次の 10 年を見据えた地域コミュニティの課題把握とその解決の取り組みを開始する。「部活動の地域移行」の調査プロジェクトの開始、助成事業の見直し等は今年度も継続して行い、地域におけるコミュニティ財団としての機能を高めることを目指す。

持続可能な組織と地域づくりのために以下についても重点的に取り組む。

- ・ SDGs の理念をベースにした草の根の市民活動から社会構造の変革に向けた連動の模索
- ・ 平時における連携構築を通じた災害支援助成・体制の充実
- ・ 持続可能な地域資源（人財・情報・財源等）の循環推進
地域財源の有効活用として遺贈寄付の推進
- ・ 企業、大学、NPO 等との協働事業の推進

※SDGs とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015 年 9 月の国連サミットで採択、国連加盟 193 か国が 2016 年～2030 年の 15 年間で達成するために掲げた目標。

【公益目的事業 1】

地域の社会課題解決のために必要な地域資源を循環させ、多様な主体参加と協働を推進する事業

（1）寄付募集 ※随時募集

ア．寄付者が選択する「テーマ指定」への寄付を募集する。

- ・ 社会課題解決型（子育て支援、災害支援、環境）
- ・ 冠基金

イ．寄付者が選択する課題解決「団体指定」への寄付を募集する。

ウ．本財団の公益事業運営支援への寄付を募集する。

【寄付募集の方法】一般（企業、団体、個人等）から広く寄付を募る。

（2）寄付研究及び啓発

【事業内容】

遺贈についての勉強会や、多様な寄付の方法、ツールを紹介し、寄付による社会貢献への参加を啓発するとともに、NPO 等にとっては資金調達として寄付集めの方法を提供する。寄付者の情報管理データベースの必要性、オンライン寄付決済についての啓発をおこなう。

ア．遺贈寄付セミナー

イ．「募金箱」「寄付付き自販機」「寄付付き商品」等の開発・販売支援

ウ．寄付付き商品の締結

エ. 古本寄付、書き損じ葉書による寄付集めの方法

オ. ファンドレイジング大会、寄付月間への参加

(3) 活動助成（公募）

【助成内容】 テーマに沿った事業について、必要資金の全部又は一部を助成する。

ア. テーマ指定助成事業

- ・子育て支援事業
- ・災害支援

イ. 冠テーマ指定助成：

- ・せいしん地域のちから基金「静岡市、焼津市、藤枝市における社会貢献事業」
- ・静岡トヨタ自動車ハイブリッド基金「環境保全」「交通安全」「福祉活動」
- ・弥栄基金「県東部（沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、小山町、清水町、長泉町、函南町、伊豆の国市、伊豆市における社会貢献事業）」

ウ. 団体指定助成事業：団体を指定して助成

【公募方法】

冠テーマ指定：ホームページ、SNSへの掲載等広く助成事業を公募する。

団体支援：指定のあった団体

【選考方法】

テーマ指定：分野に精通した専門家等からなる選考委員会に諮り、助成先及び助成金額を決定する。

団体指定：分野に精通した専門家等からなる選考委員会に諮り、助成先及び助成金額を決定する。

寄付者があらかじめ十分な団体調査・ヒヤリング審査を実施している場合は、寄付者の意向を尊重する。

※選考委員会は電磁的方法又はヒヤリング形式で、書面又はプレゼンテーションにより審査する。

(4) セミナー等、人材育成

【事業内容】

社会課題解決のために必要な資金調達支援等のワークショップやセミナー等の開催による活動支援、人材育成をおこなう。

ア. 「セミナー」「ワークショップ」等の開催

イ. 人材育成

ウ. ファンドレイジング支援

(5) コンサルティング事業

【事業内容】

地域の社会課題解決に取り組む基盤の脆弱な小規模NPO等に対してコンサルティングを実施し、活動の成果を高めるとともに団体の基盤整備を支援する。基盤整備支援のために、職業的ス

キルを活かしたプロボノやボランティア等を活用した解決方法等の展開も目指した。また、企業の社会貢献活動についてのコンサルティングを実施する。

ア. NPO コンサルティング、CSR コンサルティング業務の実施

(6) 社会課題とその解決に関する調査研究事業

【事業内容】

中間支援業務従事者との意見交換等で地域課題とニーズ発掘を行い、情報共有・発信を行う。また、地域で活躍する団体からのヒヤリングや他組織主催の会議等への参加により、各地域の課題を把握した。課題に関する情報整理と優先順位を明確化する。

ア. 地域課題とそのニーズに関する勉強会等の開催

- ・ 県内中間支援スタッフ交流会における意見交換
- ・ 地域金融機関、企業、NPO推進議連等との勉強会

イ. 課題把握の仕組みづくり検討

- ・ 地域部活に関する調査研究

(7) 情報収集及び情報発信事業

【事業内容】

社会課題やその解決、本財団の機能や実施事業に関する情報をミニ説明会や Web、サイト、ソーシャルメディア、紙媒体等で広く発信し社会課題とその解決への興味や当事者意識を啓発し、社会課題解決への多様な参画方法を提示する。

ア. ふじのくに未来財団助成事業の説明、報告会開催

イ. 情報発信

ホームページでの情報発信、月 1 回のメールマガジン、SNS による随時情報発信、活動報告書冊子作成

(8) 行政・企業・NPO等との協働事業

【事業内容】

社会課題は多くの場合複数の分野にまたがるため、多様なステークホルダーが存在する。その課題を解決するためには、市民、行政、企業、NPO等、個々のステークホルダーが持つ利害関係を調整する力が必要とされる。本財団はそれらの利害関係を調整し協働をスムーズに推進することで、社会課題解決を円滑により効果的に進める。

ア. 講師、委員派遣等

イ. 静岡県NPO活動支援センター及び静岡県東部NPO活動支援センター運営管理

ウ. ふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク

エ. 一社) 全国コミュニティ財団協会会員

- ・ NPO法人会計基準協議会会員
- ・ 静岡県地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）
- ・ 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク（略称：SDGs ジャパン）会員